

<p>令和7年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新カリキュラムの学生が全員国家試験に合格する 2. 基礎看護学の逆向き設計を成功させる <ol style="list-style-type: none"> ① 学生が状況に合わせた日常生活援助を実施できる ② 学生は安全の基本を理解して行動する ③ 学生は演習に主体的に参加しタイムマネジメントできる ④ 学生は何が看護で、看護師がなぜそうするのかを説明できる 3. 1年時の科目にGiddensのコンセプトを導入する 4. 基礎看護学技術を網羅する 5. 大阪府内80%以上、かつ3市3町就職率60%を維持する 	<p>数値目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験者数が80名以上になる 2. SNSのリーチ数が毎月1000以上を維持する 3. 第115回看護師国家試験に全員合格する 4. 大阪府内80%以上、かつ3市3町就職率60%以上を維持する
<p>令和8年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が全員国家試験に合格する 2. 自治会活動が軌道にのる <ol style="list-style-type: none"> ① 学生が学校運営の当事者という認識のもとで主体的に参加している。 ② 学年を超えた交流が日常化し、気軽に相談できる「心理的安全性の高い」ネットワークが構築されている ③ 役割が特定の人に固定されず、学生全員が「自分にできる役割」で運営に協力・参画している。 3. コンセプト学習の深化 <ol style="list-style-type: none"> ① 学生が授業にエンゲージして主体性を最大化させる授業スキルを、全教員が授業・実習で体现している。 4. 学内教員の学生による専任教員の授業評価の価レスポンスを学内に掲示し、教育の質向上を可視化する。 	<p>数値目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験者数が80名以上になる 2. SNSのリーチ数が毎月1000以上を維持する 3. 第116回看護師国家試験に全員合格する 4. 大阪府内80%以上、かつ3市3町就職率60%以上を維持する

	令和7年度の活動内容と評価	改善案
<p>基準1： 教育理念</p>	<p>3.85 → 3.65</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度卒業の21期生の卒業時自己評価から、デプロマポリシー（6P）を実習目標に取り入れたことで学生への周知が徹底できていたと評価する。 一方で6Pに社会人基礎力の評価項目を対応させた評価表を作成したが活用できなかった。実習においては6Pについて教員間で理解に差異があり、効果的に活用できていない問題点があがった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSの投稿の更新を継続する ・学生へのデプロマポリシー（6P）を指導に活用し、周知の徹底を図る ・6Pの評価を社会人基礎力のチェックシートで7月と12月にチェックする ・教員間の理解の統一化
<p>基準2： 学校運営</p>	<p>3.49 → 3.58</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市ふるさと納税の看護学生応援プロジェクト補助金により、学生の教育環境改善（校舎の修繕、自習室を増やす、教室環境の改善、モデル人形の購入など）の計画を実施した。 ・教員支援として、専任教員資格取得に向けた支援、中堅教員の教務主任養成講習会受講支援など教員研修の充実を行っている。カリキュラムに関する抄読会やNEOを活用した研修参加が実施できている。 ・ガラケーの修了に伴い、3月にスマホへ移行し規程を定めた。 ・学校データの保存をクラウド化した。 ・書類作成に職員は多くの時間を割いており、ICTの活用をもっと充実させて業務整理をする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用 ・AIの導入
<p>基準3： 教育活動</p>	<p>3.55 → 3.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は主体的に活動しており、卒業生とのコラボレーションも充実している。10月にはIS太陽の総会を実施され新体制となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価や実習評価を年度末にまとめて教員へ開示しているが、授業評価の結果に教員のコメントを添えて掲示することで、教育の質向上につながるのではないか

	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設との合同学習会や交流が増え、臨地指導者のコンセプト学習に対する関心が深まっている。 ・看護技術項目の経験項目は順調に体験している。このまま継続し経験項目の達成状況を把握していく。 ・今年度の取り組みとして、基礎看護学の逆向き設計に基づいた授業計画を実施した。1年時からGiddensのコンセプトを授業・実習に導入したことで、臨地からの実習評価も高かった。 ・ふるさと納税の補助金により、モデル人形やシミュレーターなど教材により、授業・演習を充実した。また海外研修・五島研修の研修応援金10万円により、全員がいずれかの研修に参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部コンサルタントによる指導・研修を計画し、教員のコンセプト学習の教育力向上を図る。
基準4 学修成果	<p>3.42 → 3.47</p> <p>今年度の国家試験の合格率は97.5%（合格38名、不合格1名）であった。コンセプトカリキュラムは講師、臨地指導者、学生からも有用性を感じると評価を得ている。</p> <p>国家試験対策として、各専門実習に筆記テストを組み入れ評価に反映したが、実施後のフォローに課題が残った。2年生に実習前の臨床判断演習の科目に模試を導入し、早期から国家試験に向けて意識づけるようにした。</p> <p>卒業生の状況把握については取り組めなかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の実態調査についてIS太陽と連携する ・国家試験対策を1年間のプログラムに組み込む。授業・実習との連携 保護者との連絡・通信の機会をもつ
基準 5；学 生支援	<p>3.45 → 3.61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も事務長に協力を得て就職支援を行い、りんくう総合医療センターの就職試験では合格者が12名であった。 ・2025年度卒業生では、就職率100%（進学者1名）で、うち3市3町就職者が87.2%、大阪府内92.3%であった。 ・泉佐野市による家賃補助制度が開始され、3名の学生が利用できている。ふるさと納税補助金による卒業生への卒後継続学習支援についても制度化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IS太陽と連携し卒業生へ学校活動を発信し、ふるさと納税の協力を呼びかける ・ふるさと納税システムの説明動画を作成し、入学説明会などで保護者に発信する ・令和7年度より家賃補助制度が開始についてHPにも掲載する ・ふるさと納税補助金による卒業生の進学支援制度について制度化する
基準 6：教 育環境	<p>3.25 → 3.69</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は災害時のマニュアルを作成した。次年度6月に災害訓練を実施する予定である。 ・ふるさと納税補助金により校内の補修、電子黒板、PCのリニューアル、自習室の拡充、教室の壁のホワイトボード化など教育環境改善が図れた。 ・医師会のハラスメントマニュアルとの連携には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会のハラスメントマニュアルとの連携 ・災害時マニュアルに基づいた災害訓練を実施する ・教育環境改善計画を継続する
基準 7：学 生の募 集と受 け入れ	<p>3.78 → 3.86</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3回のオープンキャンパスを実施した。 ・推薦入試に指定校推薦を取り入れたが、11校から4名のみを受験者であった。受験資格の欠席日数の規定が厳しすぎて希望者の受験ができなかったとの反応があったため、見直しを図る ・SNS部の学生と協力したInstagramは順調に更新されていて、リール数は保たれている。とくに2月の海外研修・五島研修の動画投稿により目標の100倍のリール数が得られている。SNSクラブだけでなく、教員が参画したことが大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラム投稿数の維持。HPにリニューアル ・ふるさと納税による学生支援についてもっと宣伝する。また効果について行政にも報告していく ・入試では、倍率維持を目標とする。

基準 8：財務	3.4 → 3.69 ・泉佐野市の協力を得て、令和6年11月より「泉佐野市 ふるさと納税」に「看護学生応援プロジェクト」を加えていただき補助金を頂いた。	「泉佐野市 ふるさと納税」について周知のための継続した広報活動と、卒業生などを中心に協力者を維持、拡大していくためのプランを引き続き考える。
基準 9：法令案の遵守	3.6 → 3.77 令和7年度に大阪府にカリキュラム変更の申請を行い、承認された。	引き続き法令案の遵守に努め、カリキュラム改正に備えて自己点検・自己評価を行い、よりよい学校を目指して改善を継続する。
基準10・11：社会貢献・地域貢献	基準10： 3.67 → 3.78 基準11： 3.5 → 3.67 家族・泉州文化と多様性における3市3町のフィールドワーク、泉州地域健康論における地域住民との協働、地域ボランティアによる地域との交流、地域貢献、協議会での社会貢献、学会発表、執筆による教育活動に関する貢献は十分に行っていると評価する。 日本初の車椅子の看護学生がニュース番組で報道され、ナースングチャンネルにも動画教材として掲載、24時間テレビで報道された。 令和7年度は6月～NurseShare（南江堂）のリレー投稿を行った。2月には本校教員が翻訳に携わった「コンセプト学習とコンピテンシー評価」（エグゼビア）が出版された。 また日本看護学教育学会での教育委員として第35回学会での企画準備、3月の実習指導者研修会の企画、第36回の国際、地域看護、ICTのシンポジウムに参加予定である。 国際交流では、本校1年生のアメリカ研修に加えて、ミッション大学の看護学生の研修受け入れが3回目を迎え、さらに活発化している。上五島病院との連携も強化しており、新卒者1名が就職予定である。	・専任教員と地域連携室のコラボレーションにより医介連携強化につながる地域参加企画を計画する。 ・引き続き学生の地域でのボランティア活動の推進と地域住民との連携継続。 ・合理的配慮が必要な学生への対応の継続と社会への認知度の向上 ・コンセプト・ベースド・カリキュラムやコンセプト学習についての認知を広める活動を継続 ・姉妹校との関係性の強化と共同プロジェクトの企画継続 ・上五島病院との連携継続強化 ・在校生の様々な賞の受賞を推進

